

特集：すばるで見た銀河形成時代

巻頭言	みえてきた銀河形成の時代	太田耕司	620
	赤方偏移 6 を超える宇宙へ	谷口義明	621
	巨大ライマンアルファ輝線ガス天体	松田有一, 山田 亨, 林野友紀	628
	銀河の星形成史—ライマンブレイク銀河の観測から—	岩田 生, 太田耕司	635
	早期宇宙の銀河地図を読み解く	嶋作一大, 大内正己	646
EUREKA	プラズマの運動論に基づいた銀河団非平衡プラズマの研究	岡部信広, 服部 誠	655
シリーズ	《ミニラボ。～研究室紹介新ばーじょん (10)～》 弘前大学理工学部地球環境学科	浅田秀樹	662
雑報	2003 年度内地留学奨学金による成果報告書	加藤雄二	664
月報だより			666
星空だより	日本天文学会の目的	佐藤明達	670
編集委員会より	天文月報に原稿を投稿される方へ		671

【表紙説明】

すばる望遠鏡の主焦点カメラ Suprime-Cam で撮影した遠方の巨大ガス天体 ($z=3.1$) の切り出し画像。各画像の一辺は 25 秒角 (実距離で約 200 キロパーセク)。ひろがった緑色の光は水素ガスから放射されるライマンアルファ輝線である。左上の最も大きな二つは既にその存在が知られていたが、今回のすばるによる観測で新しく 33 個の巨大ガス天体を発見した。まだこれらの天体の正体は明らかになっていないが、おそらく巨大銀河の形成と深く関わっているのではないかと考えられている。

(特集記事より「巨大ライマンアルファ輝線ガス天体」参照)